

平成27年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)

実施報告書

HT27076 食品のトレーサビリティってなあに！ ～食の安全と安心のために～



開催日：平成27年7月29日(水)

実施機関：東京海洋大学
(実施場所) (品川キャンパス白鷹館2階多目的スペース)

実施代表者：濱田奈保子
(所属・職名) (食品流通安全管理専攻/海洋生物資源学部門・教授)

受講生：中学生14名

関連URL：<https://www.kaiyodai.ac.jp/event/1101/21894.html>

【実施内容】

【プログラムに留意・工夫した点】本プログラムは、食品について提供されている生産履歴に関する情報を入手することにより、食品生産・製造の実態を理解するとともに食品を評価・選択する視点を身につけることを目的とした。プログラムの最初に食品のトレーサビリティ一般について講義Ⅰを行い、食品業界で勤務している社会人大学院生から輸入食品のトレーサビリティについて講義Ⅱを行った。その後、トレーサビリティゲーム「缶詰の謎を追え！～もし〇〇が入っていたら～」という異物混入の原因を特定するロールプレイゲームを行うことにより、トレーサビリティの必要性や意義をより深く学ぶことを工夫した。また、課題についてグループディスカッションを行い、それらについて中学生による発表を行うとともに、講師からコメントし、理解を深めた。生徒自らが考え、お互いに気づいた点を教え合うというグループ学習の手法を取り入れたことにより、非常に活発な意見交換、発表が行われた。また、中学生チーム、大学生チーム、社会人学生チームに分けて議論させることで年齢や立場が異なるグループ間でのまとめ方の違いなどを認識させることができた。

【当日のスケジュール】

- 12:30 受付開始
- 13:00 開講式
- 13:15 講義Ⅰ「食品のトレーサビリティについて」
- 13:35 休憩
- 13:45 講義Ⅱ「輸入食品のトレーサビリティについて」
- 14:25 休憩・記念撮影
- 14:40 トレーサビリティゲーム
- 15:30 休憩
- 15:40 グループ発表&コメント
- 16:40 研究室訪問
- 17:10 修了式(未来博士号授与)
- 17:30 終了・解散



(トレーサビリティゲーム)



講師Ⅰ(左)と講義Ⅱ
(右)の様子



(発表資料作成)



トレーサビリティゲーム
「缶詰の謎を追え！～も
し〇〇が入っていたら
～」を行う中学生参加者



(発表)



実施分担者の小川美香子助教や
実施協力者が発表資料作成に対
してアドバイスしながら発表試料を
作成する中学生参加者



(未来博士号授与：中学生)



模造紙にまとめた発表者資料
を使って発表する中学生(左)
と発表コメントのため、メモをと
る実施分担者の湯川教授(右)



博士号授与の様子。夏休みの課
題研究テーマについて意見を求
めてきた参加者も見られた。

【事務局との協力体制】

経費の支出面で全面的な協力を得たほか、会場の確保、学校掲示板、HPでの広報、案内板の貸し出し等、実施面でも協力を得た。また、本事業の経験を有する事務局が学術振興会との窓口を務めたことにより事務処理が円滑に進んだ。

【広報活動】

地域コミュニティペーパー「ココカラ」の6月号で港区、目黒区、渋谷区、品川区を中心に広報を行った。そのほか、本学掲示板、HPでの広報を行った。また、過去に本学の女性研究者支援機構のイベントでネットワークがある近隣の中高一貫校等に連絡したほか、大学院生の出身中学校へPRを依頼した。

【安全配慮】

参加者にはリクレーション保険をかけた。また、休憩時間などのカフェタイムに配布したお菓子等についてのアレルギー表示について説明し、アレルギー物質喫食による不測の事態を防ぐ配慮を行った。

【今後の発展性、課題】

広報活動には積極的に取り組んだつもりであったが、前日もしくは当日のキャンセルが続出し、集まりが目標を下回った。夏休み期間中だったため、平日に実施したが、平日の場合、保護者が仕事で同行できない、クラブ活動が入ったという理由で集まりが悪かったものと思われる。次年度以降は、土曜日又は日曜日の開催を検討してみたい。

【実施分担者】

小川美香子
湯川剛一郎

東京海洋大学先端科学技術研究センター 助教
東京海洋大学先端科学技術研究センター 教授

【実施協力者】 5 名

【事務担当者】

国際・研究協力課 日俣詠里子